

大統統は暫く形勢

るべしとの説を否認したが併し  
又之により無條限會議が妨げらる

對佛責任消滅ルイコフ氏宣言

【又資料十六日ロソフ】第廿八人議會  
議長ルイヨフ氏は帝政時代の對佛  
條約に付き重なる發言をなした  
即ち佛國が露國に負へた公算は  
協定を棄置ならしめ佛國のみを  
登したと云へない。

## 伊國總選舉

三月上旬舉行

三月月上旬舉行

（羅馬十六日路透電）伊太利國政府は、本邦國境の基礎に據る鐵道沿線旁の町村を併ひ内陸太平洋の面觀に對し、早や之等諸國に付て資本金は最も豊富にして大儲けを成し得る、と解き鐵道權を國々とのあると同等の條件に對するものあるもの、と指摘し倫敦は英國の對策を果しし後、伊太利は對英國の對策公債を發行せしむ、と決定した

我が政府に申込む

**我が政府に申込む**

「日本書」云、文部省は建てる。師事  
の試験を課せざる爲め、師日意  
祝の念を興するのであるが、其際  
師日意祝は安んずる内に於て、其  
する暇に於いて、二百圓の借  
入金を大倉及び三井に要求し、

胡春支那部隊大弱の能

[illegible]

安心できぬ

[illegible]

正貨六百萬圓

拂下  
【東京電報】正金銀行の正貨

本黨から問題するに

店等に臨しては過粒米種を取  
 さるゝ事に至つてゐるが右は  
 の通り口が大膽且つ露骨を露  
 ゐるので自然に和房より驚愕  
 切をつけたので同交會  
 一方飛渡家の誠心同志  
 田丸松太郎藤澤文吾氏の

審議される見込

[illegible]

◇……印度支那答禮使……  
外務省にて打合會(十五日)席上右が幣原外相、次が答

◇……伊領印度支那答禮使……◇  
外務省にて打合會(十五日)席上若く幣原外相、次が答禮使山田



來年度豫算約七十三萬圓

大正十年頃より一段と  
 歩を進め、即ち  
 洲津佐々丸は、今や約百萬と云  
 へるが之れが、驚異無敵に鑑  
 は、外務省と共に、國際序に於  
 計上し得た  
 に於ける天竺、暹羅の増明  
 百圓と陸海に關する、茲に於  
 遊船中とある、其の、茲に於

二、三箇月  
 止して夫々之等の辭人に對す  
 を變更したと云ふに止ま

[illegible]

咸鏡線中部

なく、寧ろ各方面に節約の已む十月十一日開業の成鏡閣

各道割當額決定と

國庫	二八
廣南道	二八
黃海道	一一
平安南道	一一
平安北道	一七
江原道	二三

【東京電】帝國海軍では海軍條約に依り廢棄と決した點

七千二百六十六圓を計上

を加ふる現況であつたが之  
京都府知事大森陸一男が  
同の速十四日に登り決定し

を授けて案案を脱獄した  
するものとして今國舞臺  
では明會を脱ぎ舞臺一  
致の義理に感服する  
願したと

二、二七五	錦南浦の鹽田、江坂の
一五、三八五	山の峯、谷垣、半田、
一六、七一〇	谷、大邸の若林、森の

産米増殖計畫に伴ふ  
土地改良事業

ては陛下閣下國務院の意圖  
とてを興へたが彼の會社來  
る經費を以て那を了す

[illegible]

より十五ヶ年間に完了せしめん  
したる場合等凡ゆるが面より考  
く補助金も既に三百六十

を如へたものであつて、これは一出してゐる

に四百萬石に達してゐる。朝鮮之を綜合する大元帥愼元立の時に於ける四百二十萬七千五百歩の土地、朝鮮には工部院一萬六千八百六十町、この朝鮮は三百八十九萬五厘の海境であつた。朝鮮の最國から工部院一萬餘畝、朝鮮之べき町三十三萬五町に朝鮮相當の工部院と、同朝鮮一萬六千町、必らずしと對するのであるが、朝鮮を以てするのであるが、これを明程度より十ヶ年程度として、海境を五ヶ年

沙也威を成立の機軸となつたのである。事情は益々複雑に發展する一面、最近の金融緊縮策、株式市場の暴落、前倒しと銀行金策等、種種に關連材へする材料なき所、何れ何れ著しい歩調から日曜明けに對しては一時最高記録への姿である。

米鐵大株價は、前週第二二二點半、小會合を以て降下し、とうとう二二〇點の整数の關口に達する。▲其の決定には、鐵の近來の増産の決定に、一五、五三の比率から見て、米鐵の選運量の増力が著しく低下してゐることにある。▲本學で、大株の競賣計畫として、一五、五三の比率を以て、

十八日 正晴氏 三〇度西  
 午 孫氏 三六度七  
 十七日 低麗氏 二〇度入

及、而も製法に弊社獨特の  
 平命の一大新工夫を凝した  
 を以て、價格の絕對的至  
 廉なるを保證する以外、堅  
 平と高尙、輕快と自出、簡

鐵鋼鐵道船舶  
料其他工業器諸  
處品商  
角野商  
華山(電話二三  
町)(東京版一

に依はらずに主す  
 京坂本町二丁目  
 ね つぎくじこ  
 の拾捌の御伏掛廻り  
 明治中島屋へ移  
 園 先期要約預け座  
 金部寄附金で歩  
 京坂山一山脚久次  
 宿 閑 此所は日暮  
 子賢と初遊九八  
 木 買大口立本  
 京坂本町二丁目  
 野村二丁目  
 突 店内外自抜の申  
 運りたし御願の方左

[illegible]











